

子どもの夏かぜに注意!



夏かぜとは、夏に子どもを中心に患者数が増える感染症の総称です。例年5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎えます。

手足口病

軽い発熱
水疱性の発しん（口内、手足）
重症化で脳炎や髄膜炎の可能性



咽頭結膜熱

持続する高熱、咽頭炎、結膜炎
長い間病原体が排出されやすい



ヘルパンギーナ

突然の高熱、咽頭痛
口の中に水疱ができ、痛みで
食欲不振になることがある



◆ 県内の流行状況

- 直近5週間（22-26週）で疾患の報告数は増加傾向
- 気温の上昇とともに、感染者がさらに増える可能性あり

◆ 予防方法は？

手洗い

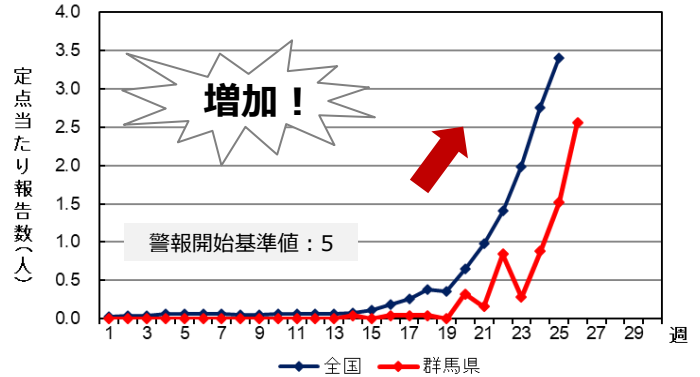


- 原因ウイルスはアルコール消毒が効きにくいいため、手指は石けんと流水でよく洗う
- タオルの共有はしない

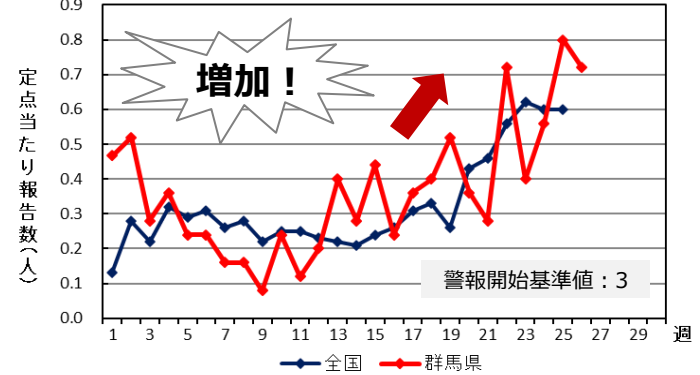
症状があるときは…

- 医療機関を受診し医師の指示に従う
- 水分と十分な休養を取る

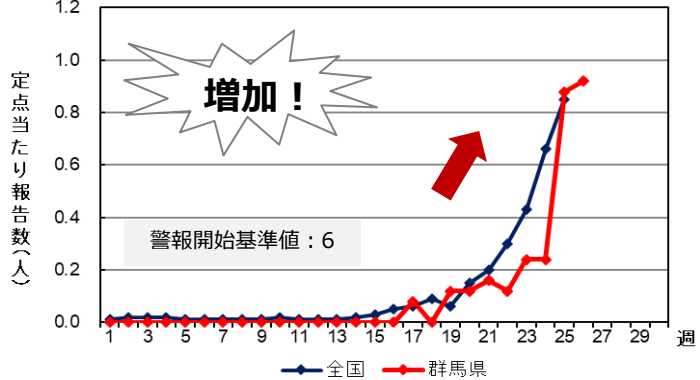
2026年 手足口病 患者報告数推移



2026年 咽頭結膜熱 患者報告数推移



2026年 ヘルパンギーナ 患者報告数推移



★感染症の詳しい情報(群馬県感染症情報) <https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県衛生環境研究所

TEL: 027-232-4881

E-mail: kenkokikikanri-c@pref.gunma.lg.jp

